



カケハシ・プロジェクト（米国） プリンセス・デリゲート招へいの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

プリンセス・デリゲート^{（注）}の2024年度代表者4名を、2025年1月22日から1月28日まで招へいしました。参加者は東京都と静岡県を訪問し、表敬訪問や関係団体との交流、ホームステイ、文化体験を通じて、日本の文化や社会について理解を深めました。また、参加者各々がその学びや気づきをSNS等を通じて発信しました。

（注）プリンセス・デリゲート（Princess Delegate）：毎年3月から4月にワシントンD.C.で行われる、州協会全米協議会主催の日米友好を祝う祭典・「全米桜祭り」にて開催される文化事業「さくらプログラム」の参加者。全米各州から選出され、さくらプログラムに参加する。

【参加者】米国のさくらプログラム参加者（社会人）合計4名

【訪問地】東京都、静岡県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

1月16日（木曜日）【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

1月22日（水曜日） 羽田空港より入国
【来日時オリエンテーション】
1月23日（木曜日） 【表敬訪問】総理夫人 石破 佳子 氏
【視察】迎賓館赤坂離宮
【表敬訪問】外務大臣政務官 英利 アルフィヤ 氏
【視察】明治神宮、原宿（日本のポップカルチャー）
1月24日（金曜日） 【視察】日本科学未来館
東京都から静岡県へ移動
【ホストファミリー対面式・ホームステイ】御殿場市小山町
1月25日（土曜日） 【ホームステイ】御殿場市小山町
【意見交換】御殿場市消防団 女性部
【文化体験】茶摘み体験（有限会社勝又製茶）
1月26日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】
【視察】あたま桜糸川桜まつり
静岡県から東京都へ移動

1月27日（月曜日） 【視察】日枝神社
 【表敬訪問】日本さくらの会会長兼衆議院議員議長 額賀 福志郎 氏
 【交流】公益財団法人 日本さくらの会
 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

1月28日（火曜日） 【視察】浅草
 羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



2025年1月23日【表敬訪問】
 総理夫人 石破 佳子 氏



2025年1月23日【視察】
 迎賓館赤坂離宮



2025年1月23日【表敬訪問】
 外務大臣政務官 英利 アルフィヤ 氏



2025年1月23日【視察】
 明治神宮



2025年1月24日【ホームステイ】



2025年1月25日【意見交換】
 御殿場市消防団 女性部

	
2025 年 1 月 25 日【文化体験】茶摘み体験	2025 年 1 月 26 日【視察】あたま桜系川桜まつり
	
2025 年 1 月 27 日【交流】 公益財団法人 日本さくらの会	2025 年 1 月 27 日【報告会】 集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

表敬訪問では英利アルフィヤ外務大臣政務官にお会いできて良かったです。歓迎していただいて、私たちの質問に的確な回答をいただき、やる気が起きました。

文化体験では、御殿場市での茶摘み体験が大変良かったです。18 代続く会社では、伝統的な茶摘みと製茶法を継承し続けていることに感銘を受けました。

◆ 社会人

今回のプログラムを通して最も印象的だったのは、御殿場市消防団女性部を訪れたこと、ホームステイをしたこと、明治神宮、日枝神社、浅草寺で御朱印を集めたことです。

御殿場市消防団女性部の視察では、女性部長と対話し、米国での危機管理で自分が行ってきたことを聞いていただきました。

◆ 社会人

ホームステイの思い出は、心に長く残ると思います。ホームステイでは日本人の生活や伝統、習慣を直接見ることができました。私のホストファミリーは、日本とベトナムの文化が融合しており、ユニークでした。ホテルに滞在したら体験できなかった、お金では買えないプログラムでした。

◆ 社会人

お茶摘みと手揉み茶づくりを体験できて、とても楽しかったです。ホームステイもリアルな日本の生活を学ぶすばらしい経験でした。

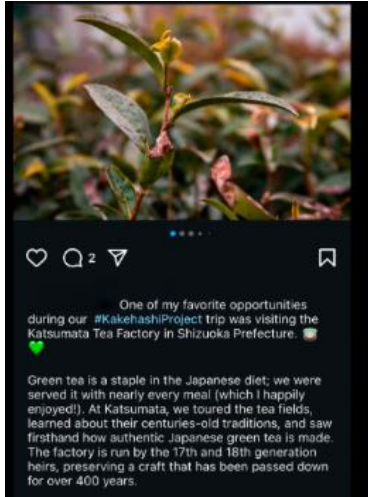
4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 協力団体

今回受入れをさせていただき、まずホストファミリーのみなさんが非常に喜んでくれたことが何よりでした。受入れ前は心配も大きかったようですが、結果的にはとても楽しくホストできたそうです。熱海桜が今年は開花が二週間ほど遅れているようで、一分咲き程度でしたが、それでも熱海の景色を十分楽しんでいただけたような印象でした。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2025 年 1 月 24 日（Instagram） 日本でのカケハシ・プロジェクトの最初の 2 日間は、目まぐるしくも非常に充実したものでした！東京での最初のプログラムは、総理夫人への表敬訪問でした。彼女は、私たちを首相公邸で迎えてくださり、両国の友好関係や従来型の相互理解と新たな形の相互理解を同時に促進する重要性について、質疑応答を交わしました。（後略）	2025 年 1 月 28 日（Instagram） 一生思い出に残る機会をくださったカケハシ・プロジェクトに感謝します。文化交流を通して、日本の人々、歴史、考え方を理解することができました。私は日米のカケハシとして、友好関係を強めていくことを光栄に思います。 東京の活気ある街並みから、静岡の穏やかな茶畑まで、日本の心を探検してきました。ハイライトは、石破総理夫人、英利アルフィア外務大臣政務官とのパワフルな面会でした。静岡での茶摘み、熱海での美しい冬桜、どこに行っても日本の伝統と革新の融合（古代の神社から最新技術まで）を感じました。この国をとっても特別なものにする温かさ、おもてなし、豊かな文化に感謝します。私は日本が伝統と革新を両立させ、地域社会やホスピタリティを大切にし、自然とともに生きる指針を学びました。このマインドフルネス、自然への敬意、伝統と革新両方への感謝の気持ちを米国に持ち帰ります。



2025 年 1 月 30 日 (Instagram)
 カケハシ・プロジェクトのプログラムにおいて、特に気に入った訪問先の一つは、静岡県の勝又製茶の工場です。緑茶は日本の食事に欠かせないので、ほとんどの食事で出てきました。勝又製茶では、茶畑を見学し、本格的な日本茶の作り方を見てきました。工場は 17 代目と 18 代目によって経営され、400 年以上にわたって受け継がれている方法が続けています。茶摘みから袋詰めまでの工程を見せてもらいました。(後略)



2025 年 1 月 30 日 (東京消防庁 麹町消防署のページ)
 「文化財防火デーに伴う消防演習を実施」
 令和 7 年 1 月 27 日 (月)、日枝神社において「第 71 回文化財防火デー」に伴う消防演習を実施しました。
 (中略)
 外務省が推進している対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」の一環で来日した米国さくらのプリンセスも、消防訓練を見学しました。



2025 年 2 月 3 日 (さくらの会 会長 額賀 福志郎氏の HP)
 「プリンセス・デリゲートと、さくらの女王御一行 表敬訪問」



2025 年 2 月 3 日 (一般社団法人 地域振興交流協会の Instagram)
 「カケハシ・プロジェクトにてさくらのプリンセス 4 名が静岡に来てくれました！」

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、静岡県 全2グループ発表

グループ1（2名）



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び：

- ① 日本の共同社会の状況（周囲への配慮、清潔な街や電車、子供たちが一人で帰宅できる安全な環境）、伝統の継承、バランスの取れた生活について知ることができました。

また、神社では、車や赤ちゃんまでご祈禱を受けており、日本人が文化や伝統を大切にしていること、救急車等のシンボルである桜は、日本人の心と深く繋がっていることに気づきました。

- ② 他者への配慮、シンプルさ、品質へのこだわり、社会的責任、文化の保存について、考える機会となりました。

◆ 個人的展望：

- ① 自分自身の文化遺産を守る努力をしたいと思います。
- ② 自分の人生に意味をもたらすような伝統を築く時間を作りたいと思います。

【アクション・プラン】

- ① 日本で撮影した写真、考察、洞察を特集したデジタルマガジン又はニュースレターを発行します。3月中旬までに完成、4月第1週までに配布します。日本文化に対する認識を高め、カケハシ・プロジェクトのような文化交流プログラムへの参加を促します。
また、地元のロードアイランド日米協会の行事や、2025年さくらプリセスプログラムにおける行事等において、カケハシ・プロジェクトに関するプレゼンテーションを行います。
- ② 地元のコミュニティと私が勤務している学校の世界地理の授業で、日本に関するレッスンを1日設けます。また、日本の文化の日を開催し、生徒たちに日本文化について、芸術、料理、言語、歴史を通して紹介し、日米の文化交流と理解を促します。

グループ 2 (2 名)



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び：

- ① ホームステイ家族では、ベトナムと日本の文化の融合が見られました。お父さんも家事育児に参加していました。
- ② 日本科学未来館では、JAXA についてより深く学ぶことができました。フロリダから宇宙船を国際宇宙ステーションまで打ち上げるための国際協力について、日本がどのように考えているのか、貴重な情報が展示されていました。

◆ 個人的展望

- ① 金融と異文化交流の接点として、日本市場向け OCIO サービスの拡大に取り組みたいと思います。
- ② 私のキャリアの一つに緊急事態や災害管理があります。御殿場市消防団の女性部長に、近いうちに協力したいと伝えました。私は、フロリダ州の既存の手順を改善するために、日本の危機管理手順を参考にしたいと思います。

【アクション・プラン】

- ① フルブライト研修生に選ばれており、ザンビアへ行くので、他の研修生向けにワークショップを開き、今回の訪日中の学びや体験について発表します（8 月頃）。フルブライトのブログ記事でも伝えます（許可が降り次第、3 月 31 日まで）。カケハシ・プロジェクトについて、NCSS（全米州協議会）で発表します。また、さくらプリンセスのボランティアに参加して、次のプリンセスにつなげます（4 月 20 日まで）。
- ② 日本の危機管理に協力するため、御殿場市消防団の女性部長に連絡を取ります。このプログラムを通して経験したことを詳しく書いたブログを始めます。フロリダ州の危険物緊急対応計画の 2025 年版にカケハシ・プロジェクトについて記載します。帰国後すぐに準備し、2 月中に完成させます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）